

蓮沼むらづくり協議会 地域内買い物支援サービス事業 いよいよ始動！

主催者に直撃インタビュー！！

1. なぜ設立しようと考えましたか

買い物に不自由をしている方のために取り組み始めました。蓮沼地区は買い物をできるところが限られています。自分で買い物をしたくても、移動手段がなく、高齢化も進んでいるため、早めの対策が必要であると考えました。

2. 大変なこと、苦労していることは何ですか

「対象者の基準を決めること」と「利用者への情報伝達」です。「対象者の基準を決めること」については、何度も検討してきました。結果的に、今回は「ひとりで買い物ができる方で、70歳以上の方」になりました。「利用者への情報伝達」については、今後、利用者を募集するにあたり、本事業をご案内するチラシなどで、実施方法や内容が正しく伝わるように、しっかり考えて行きたいと思えます。

3. どのように事業を進めていますか

とにかく行動してみようということで始めました。リスクや問題などは、たくさん考えられますが、今後問題があれば、その都度修正していくことになりました。まずは、参加人数が増えた場合に対して、ピストン輸送や地区別対応の必要性があげられます。



今回の買い物で使用した車両です

- ・今回は、「特別養護老人ホーム海」が車両を提供しました。
- ・乗降の見守りのため、運転手とは別にボランティアがひとり同乗しました。
- ・現在、自動車保険を見直しており、この事業に適した契約内容への変更を検討しています。

利用者の率直な感想

- ・「難しいとは思いますが、週に1回利用できればいいな。」
- ・「自宅まで迎えに来てくれたのはありがたい。」
- ・「自分で買いたいものを見て回れてよかった。業者の配達サービスとは違う良さを感じた。」
- ・「このサービスの予約は、2日前くらいまでにできるといいな。」
- ・「今回の利用時間は、1時間でちょうどよかった。」
- ・「買い物だけではなく、みんなとおしゃべりしながら外食できるサービスがあればいいな。」
- ・「移動の車のなかで乗り合わせた人たちとのふれあいもよかった。」
- ・「独居でなくても、サービスが利用できればうれしい。」
- ・「自分も色々なボランティアをしていたが、現在受ける身になって改めてありがたい。」
- ・「このサービスを今後も続けてほしい(利用者の多くの声)。」

サロンだより編集部から一言

- ・「Man to Man」、人との繋がりを大切にしたい買い物支援サービス事業は、高齢者のひきこもりを未然に防止するためにも、とても重要だと思えました。
- ・これからは、「運転免許証を返納した人」も対象にすることが必要になってくると考えられます。
- ・今回は、スーパーマーケットとドラッグストアが隣接した、比較的蓮沼から近いエリアを買い物の場所として選定しました。今後、他の場所での買い物や外食など、利用者の多様なニーズに対応できるように、本事業の工夫、改善に努力されるものと期待が持てます。
- ・蓮沼むらづくり協議会の方々の熱意と行動力に敬意を表し、ほかの地域にとっても良い手本になるのではないかと率直な感想を持ちました。

運転手＆同乗(買いもの支援車両) ボランティア募集

運転手と同乗ボランティアを募集しております(ボランティアとして活動するにあたって、特別な資格等は必要ありません)。また、蓮沼むらづくり協議会と山武市社会福祉協議会が主催した「福祉有償運送運転者講習」、「家事援助担い手講座」を修了された方で、ご協力くださる方大歓迎です。地域のみなさまのお力をお貸しください。

ご関心のある方は、以下へご相談ください。

問 蓮沼むらづくり協議会事務局

☎ 080-7837-3800 (携帯電話まで、ショートメールにてご連絡ください)
hasunumamura@gmail.com